

○ 株式会社トマウェーブは、市町村の下水処理場から排出される下水汚泥や、食品工場で排出される汚泥を原料とした汚泥肥料を製造。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

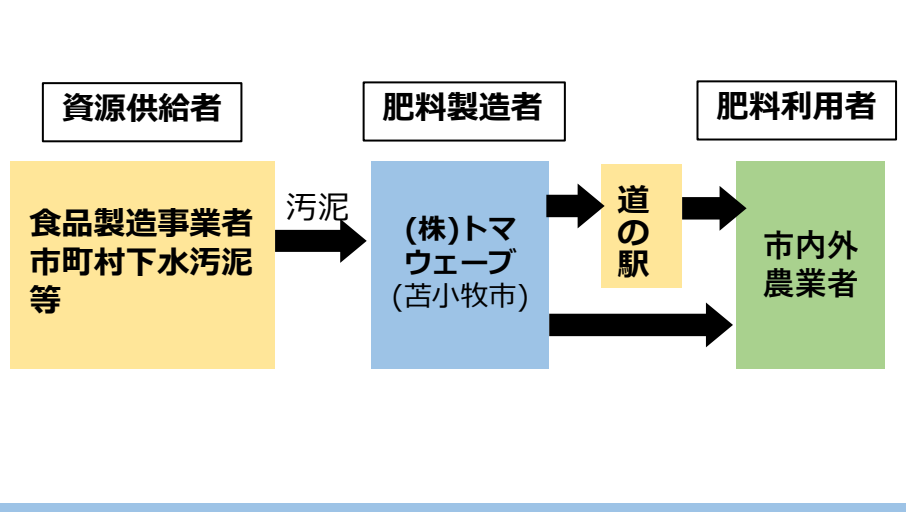
- 下水汚泥
 - 食品汚泥
- 【汚泥肥料】トマックス等

■作物 ■主成分の含有量（％）・特徴等

- 麦
- 稲
- 野菜
- 園芸作物 等

	N	P	K	C/N比
トマックス	5.9	4.3	0.51	5.5
グリーンウェーブ	1.1	0.61	0.1	4.1

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■取組の経緯・内容・成果（見込み）

- 取組の経緯**
- 株式会社トマウェーブでは、産廃処理業者として、従前より廃タイヤから出るガスを活用して乾燥させる等して汚泥肥料を製造。
- 取組の内容**
- 恵庭市等21市町村の下水処理場から排出される下水汚泥や、食品メーカーが食品製造の過程で排出する汚泥を原料として、性状の異なる2種類の肥料（トマックス、グリーンウェーブ）を製造。
 - 1万円/1フレコン(400kg)で販売。他市町にも販売。
 - 恵庭市による下水汚泥事業への認知度向上を目的に、恵庭市と連携して道の駅で販売。売れ行きが良く好評。（※現在休止中）
- 成果（見込み）**
- 他市町村の農業法人からフレコン単位での発注があり、継続的に利用されている。肥料が粒状のため、既に所持しているブロードキャスターで散布できると好評。
 - 慣行施肥のほか、融雪剤の代替えとしての肥料利用に加え、ビート栽培への施肥効果にも期待が高まっており、現在実証テストを行っている。

■今後の課題・取組

- 汚泥肥料の原料の1つとして食品残渣を利用していたが、新たな取り組みとして、その食品残渣を燃料とするバイオガス施設の建設を検討。
- 今後、その施設から発生する消化液を肥料利用できないかも併せて検討。

↑トマックス

↑(株)トマウェーブが実施している食品リサイクルループ